

一月十五日

七時半屋上に上り、台所の生ゴミを埋める。快晴である。屋上をこれからどうするか考える。八時半バスで成城学園へ。向ヶ丘遊園で待ち合わせ。野田氏と共に現場へ。修正箇所を打ち合わせ。十時四十分終了。新宿で昼飯を簡単にすませ十二時前新大久保。百人町の竹内ビルを見る。竹内さんの希望もつかがう。コンバーション候補である。十二時半了。十三時教室会議。十四時三好シユタークさん相談。

指扇の家の件でGAに電話する。二川幸夫が見て「わからない」と言っていると言うので、直接二川氏と話す。「わからない」と言うのは二川さんの場合「キライ」と言う事。何言ってるかと思つたが、この人の言う事には耳を傾けた方が得な事も知り抜いているので、とり敢えず引き下がった。千三百万円のローコスト住宅だからなんて理屈は二川幸夫には通じない。仕方ない、このタイプのモノを幾つか続けて見返してやるしかないだろう。思い付きで私が動くワケ、ネエーだろうと、マ、今日のところは独人つぶやいておこう。木造で「幻庵」やってみせただけけれど、随所に素人っぽいやつが露出しているのも、計算づくなんだが・・・マ、仕方ないだろう。こういうイヤな事言ってくれる人も数少なくなつてしまった。

十七時幸脇さん夫妻、講談社園部氏来室。軽井沢の家の相談。十八時四〇分了。いささかの雑用。二十一時世田谷村。室内原稿

書き切れず二十三時過、仮眠のつもりが眠ってしまう。

一月十六日

六時前起床。四十五分原稿書き上げて室内にFAX送る。又、編集部長井に迷惑かけてしまったが、マアマアの出来だと思つ。上海と五百万ハウスの事を書いた。九時過杏林病院。事故から一ヶ月経つたので放射線科で脳のMRI撮る。装置の中でウトウトする。色んな音が身体に入り込んでくる感じ。大宇宙っていうのもこんな感じのかな。無意識と宇宙は連がっているのかね。今会計受付で所在無い待ち時間の中に居るのだが、それにしても病院は大繁盛だ。十三時前、新大久保で立喰いソバ食べて研究室に戻る。貧しい人生だナア。立喰いながら、そう思う。

一月十七日

今、九時四十五分。広島行き飛行機の中。昨日のメモを記している。夕刻、十六時東大鈴木博之研究室。東大出版会の全十巻の建築史の件。私の役目は第十巻の「現代」のとりまとめなのだ、その役割はとうに鈴木博之におんぶしてしまつたから、自分の「何をもつて現代とするか」の原稿を書くだけの事なんだが、これが仲々難しい。古代、中世、近世、近代、現代と続いてくるわけだが、それぞれの時代区分、つまり近世と近代、古代、中世の区分と比較すれば誰の目にも近代と現代の区分が最もあいまいで、あいまいどころではなく、無いのであり、その無いモノを書くのだから難しい。人類にとって未来は決して希望に満ちたものではない。今に連なる近代は科学技術の進歩によって「不安」も又増大させた。その「不安」の先に、それでも何か希望があるのかを展する、その展望自体を「現代」とするしかないのではない

か。昨日杏林病院のMRIの磁場カプセルの中に突込まれ、脳の輪切り映像をとっている時に聞いた音。ブーン、ブーン、トゥルルルル、キーン、キーンという奴。アレは実に妙な音であった。脳に障害があるや無しやを検索する音、現代の技術の音である。不安な音でもあるが妙に大宇宙に浮いているような、脳は小宇宙の意識、不意識をつかさどっている処だから、その脳の中に分け入ると、そこに大宇宙が拡がっているという様な感じ。ガストン・バラシユールの大と小、外と内の弁証法は詩的直観の中にあると言つよりも、MRIのテクノロジーそのものの中にあるという感じがな。自分でもよく解っていない事を書いているが、要するに、たとえば宮沢賢治が沢山の擬音で表現しようとした、彼の脳的内的風景は今や「不安」を模索する、人体内への探検テクノロジーが表現してしまっているようだ。想像力は現実に超えられ続けている。

昨夜は又、難波和彦主催の技術と歴史研究会の第一回の集まりだった。東大の松村秀一先生の話聞いた。ピエール・シャローのダルサス邸。アルバート・フレイのアルミ住宅。バツキー・フラーのウイチタ・ハウスとケース・スタデイ・ハウス# 22・ピエール・コーニグのSTABLE邸（一九五九年）の松村的解釈を聞かせてもらった。技術という現実を介して、近代の表現の意味を探る、といった趣があつた。この考えは最良の歴史家の仕事に通じる。

今、十時四〇分、飛行機は広島空港に降下を始めた。眼下は雲景色。一 らしい。空港より一時間二〇分程車で移動。中国山脈の坦々たる山並みを抜けて岩国市へ。十二時過シンフォニア岩国着。デッキ、コンサートホールが会場。十三時半石井俊一氏の「空港とまちづくり」に続いて講演。「市民運動とまちづくり」

市役所総合政策部の重野課長がアレンジしたもの。岩国市長井原勝介氏にもお目にかかる。十六時頃修了。広島空港に走る。十八時十分の⁴便があつて、今待合ロビーでメモを記している。全く広島で時間のアキがなく、上海スタジオの木本君には会う事が出来なかつた。今度、福岡の用事の際には岩国に寄つてみるつもり。二十一時前新宿で連絡事項沖繩行のチケット受け取り只今京王線車中。長い一日であつた。千歳烏山駅のプラットホームに降りたら小雪がちらついていた。小雪の中を世田谷村に戻る。東京では初雪だな。